

# ユーザーズマニュアル

**⚠ WARNING 運転中は安全運転を最優先として B+COM をご使用ください。**

## はじめに

サインハウス「B+COM（ビーコム）ブルートゥースコミュニケーションシステム SB213」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

B+COM SB213 は最新のデジタル無線技術「Bluetooth2.1+EDR」を採用しています。

キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーやペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。

本製品を安全に、良好な状態で、未永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読み下さい。

ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管して下さい。

## ご注意

- ・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
- ・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社 WEB サイト ([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)) をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
- ・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、サインハウスはライセンスに基づいて使用しています。
- ・本製品は電波法に適合する TELEC の認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。  
※ 海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

## 目次

- |                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ① B+COM SB213 の主な特長                | ⑩ 「2ch：オーディオチャンネル」で音楽やナビ音声を聴く       |
| ② セット内容                            | ⑪ 「3ch：B+COM チャンネル」で B+COM との会話を楽しむ |
| ③ 安全上のご注意                          | ⑫ Bluetooth 対応無線機とのペアリング            |
| ④ 電池に関するご注意                        | ⑬ クロスオーバー時の動作                       |
| ⑤ Bluetooth について                   | ⑭ インターネットによるプログラムアップデート             |
| ⑥ B+COM SB213 の各部名称と機能             | ⑮ リセット操作                            |
| ⑦ 使用前の準備                           | ⑯ LED 点灯パターン                        |
| ⑧ 電源の ON/OFF                       | ⑰ トラブルシューティング                       |
| ⑨ 「1ch：携帯電話チャンネル」で携帯電話のハンズフリー通話を行う | ⑱ B+COM SB213 仕様                    |

■ 「Bluetooth2.1+EDR」の採用で、高音質と高レスポンスを実現しています。

■ 3+1（マルチプルファンクション）チャンネルの Bluetooth 通信エンジン「CSR BC05MM」を搭載しています。

1ch：「携帯電話チャンネル」携帯電話による発着信通話・Bluetooth 対応無線機とのペアリング  
[HSP,HFP]（1ch「携帯電話チャンネル」は並行して2台の端末とペアリングが可能）

2ch：「オーディオチャンネル」音楽を聴く、ナビの音声を聞く [A2DP,AVRCP]  
（2ch「オーディオチャンネル」は端末1台のみとペアリングが可能）

3ch：「B+COM チャンネル」タンデムライダー、ペアライダーとの会話 [ICP]  
（3ch「B+COM チャンネル」は端末1台のみとペアリングが可能）

※各チャンネルには個別の対応プロファイルがあり、ペアリングできる機器の種類や数量が決まっています。

■ 新設計基盤回路の採用で大幅な稼働時間の延長と充電時間短縮を実現しました。

■ インターネットによるプログラムアップデートが可能です。  
WEB でアップデート及びプログラム更新ができます。

■ 外部配線を必要としないワイヤレスなので、煩わしさや手間がいらす  
自由で快適なライディングができます。

■ 高性能デジタル ECM と新ノイズキャンセリング回路採用で高速道路でも  
クリアで余裕のある会話が可能です。

■ 新開発のオリジナルチップとプログラムを搭載しているので、  
高音質で臨場感のある音楽を楽しめます。

■ 「B+COM チャンネル」は Class1 出力で通信距離は規定に基づき約 100m。  
2 台のバイク間での通話も余裕で OK。

（標準プログラムを使用した B+COM SB213 同士の通話で双方の間に障害物がない場合）

■ ヘルメットと一体感があり風切り音を抑えたシャープでコンパクトなデザイン。

■ ヘルメットの形状に合わせてオプション（別売）からマイクやスピーカーの  
バリエーションが選べます。

■ 着せ替え感覚で自分好みのルックスにチェンジできるフェイスプレートを採用。

■ 突然の雨でも安心。本体は生活防水処理を施した防滴仕様。

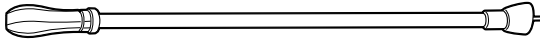
## 2

## セット内容

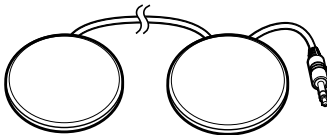
製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡下さい。

※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。

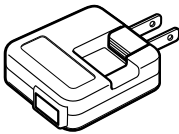
- アーム型マイク (150mm) × 1本 (2本)



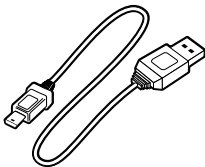
- ケーブル型マイク (250mm) × 1本 (2本)



- ヘルメット用高音質ステレオスピーカー × 1個 (2個)



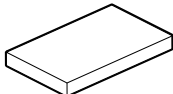
- 充電用 AC アダプター × 1個



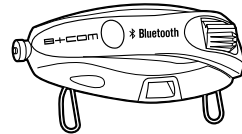
- データ転送用 USB ケーブル × 1本



- マイクジャックキャップ × 1個 (2個)



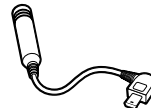
- 本体保護用パッド × 1枚 (2枚)



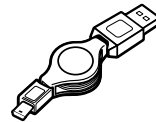
- B+COM SB213 本体ユニット × 1台 (2台)



- マイク用スポンジ × 1個 (2個)



- スピーカー変換ケーブル × 1本 (2本)



- 充電用 USB ケーブル × 1本



- スピーカー固定用調整パッド厚／薄 × 各2枚 (各4枚)



- スピーカー固定用 ベルクロテープ × 2枚 (4枚)



- ケーブル型マイク固定用 両面テープ × 1枚 (2枚)

- ユーザーズマニュアル本書 (保証書) × 1部

### 3 安全上の注意

- B+COM SB213は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導下さい。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。



**危険** 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。



**警告** 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。



**注意** 指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。



**警告**

- 大音量を聞きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難して下さい。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切して下さい。Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えて下さい。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認下さい。
- 飛行機の中では使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。



**注意**

- 分解、改造、修理をしないで下さい。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをされる恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないで下さい。本製品は防滴仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツやminiUSBジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けて下さい。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けしないで下さい。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をして下さい。
- ボリューム設定に気を付けて下さい。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないで下さい。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

## 4

### 電池に関するご注意



#### 警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流して下さい。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けて下さい。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談下さい。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定の AC アダプターを使用して下さい。指定以外の AC アダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- AC アダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないで下さい。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時は AC アダプターをコンセントから抜いて下さい。差したままの状態では、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。



#### 注意

- ミニ USB ジャックに金属片を接触させないで下さい。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

## 5

### Bluetooth について



#### Bluetooth とは

Bluetooth とは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth 機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。

Bluetooth を使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。

さらに機器との間に障害物があっても通信できるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。Bluetooth 機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルを超えた接続が可能になっています。(接続するには双方の Bluetooth 機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります)

※ Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

#### 使用する電波

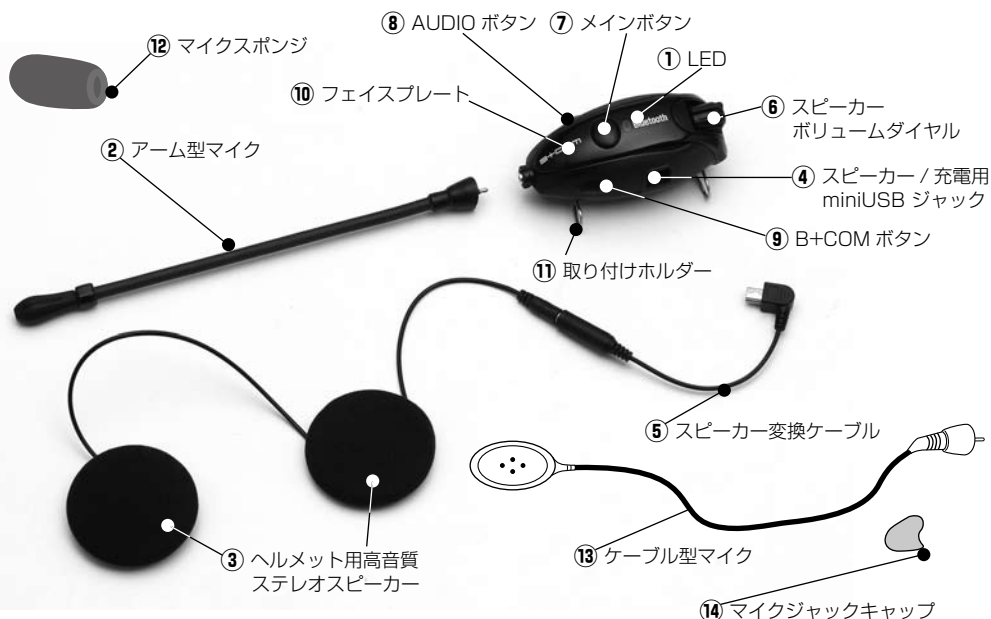
本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として技術基準適合証明を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

#### 機器名：B+COM SB213

※ 海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

B+COM SB213 は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用して下さい。

- 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
- 免許を必要としない特定小電力無線局
- アマチュア無線局
- IEEE802.11g/b 規格の無線 LAN 機器



- ① LED…B+COM の動作状況を光り方と色（赤 / 青）で表示します。
- ② アーム型マイク（150mm）…B+COM 同士や携帯電話での通話に使用します。  
※オプション（別売）にロングアームタイプ（190mm）の設定もあります。
- ③ ヘルメット用高音質ステレオスピーカー…音声や音楽を高音質で出力します。
- ④ スピーカー / 充電用 miniUSB ジャック…使用時にはヘルメットスピーカーを、充電時には AC チャージャーを、プログラムアップデート時にはパソコンを接続するジャックです。
- ⑤ スピーカー変換ケーブル…スピーカーのステレオミニ端子と本体 miniUSB ジャックの接続に使用します。
- ⑥ スピーカーボリュームダイヤル…音量を調整するダイヤルです。（15 段階）
- ⑦ メインボタン…電源 ON/OFF、携帯電話ハンズフリー通話での着信応答 / 通話終了 / リダイヤル発信、ペアリングした B+COM との通話終了に使うボタンです。
- ⑧ AUDIO ボタン…B+COM とペアリングしたオーディオ機器の音声を ON/OFF 操作するボタンです。（AVRCP 対応機のみ）
- ⑨ B+COM ボタン…ペアリングした B+COM を呼び出す時に使うボタンです。
- ⑩ フェイスプレート…付属品はブラックです。オプション（別売）でデザイン変更ができる外装カバーです。
- ⑪ 取り付けホルダー…本体をヘルメットに取り付ける時に使用します。
- ⑫ マイクスポンジ…マイクに被せて使用します。
- ⑬ ケーブル型マイク（250mm）…フルフェイスヘルメットを使用する場合に便利なタイプのマイクです。  
※オプション（別売）にロングケーブルタイプ（400mm）の設定もあります。
- ⑭ マイクジャックキャップ…マイクを使用しない場合にほこりや水滴から本体を保護するために使用します。

## ご使用にあたって

- 本体に強い衝撃を与えないで下さい。破損や故障の原因になります。
- 油類を付着させないで下さい。ガソリンやオイルなどが付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- 本体に無理な力をかけないで下さい。可動範囲には限りがあります。無理に力をかけると破損や故障の原因になります。
- 本体に手をかけてヘルメットを持ち運ばないで下さい。本体が破損するばかりか、本体が外れてヘルメットが落下する原因にもなります。
- 本体は走行中にヘルメットから落下しないように確実に取り付けて下さい。
- コネクターは根元を持って確実に抜き差しして下さい。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- B+COM SB213 を装着したヘルメットを置くときは本体に衝撃を与えないように注意してください。

## 充電方法

B+COM SB213 は内蔵バッテリーで作動します。

ご使用になる前に、付属の AC アダプターを使い B+COM SB213 を充電して下さい。

充電中は B+COM SB213 の LED が赤色に点灯します。

充電が完了すると LED は青色に点灯します。

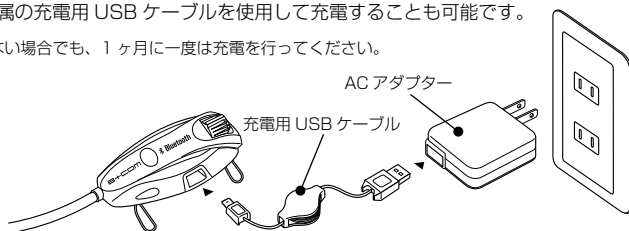
初めてお使いになる場合、または電池が消耗している状態からの満充電時間は約 2 時間です。

約 1 時間で 90%の充電ができます。

充電終了後も AC チャージャー接続のまま放置すると、バッテリー劣化の原因となりますのでご注意ください。

パソコンの USB ポートから付属の充電用 USB ケーブルを使用して充電することも可能です。

※ B+COM SB213 本体を使用しない場合でも、1 ヶ月に一度は充電を行ってください。



## ヘルメットへの装着

B+COM SB213 は、ヘルメットに手軽に装着できるように設計されています。

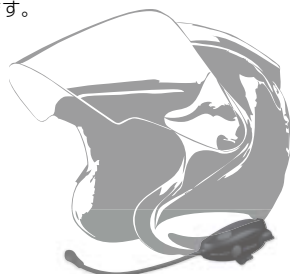
※ 誤った装着方法は、故障や走行中の脱落につながりますのでご注意ください。

ヘルメットによっては、装着のために加工が必要な場合があります。

### ■ 装着できるヘルメットタイプ

- ・フルフェイスヘルメット
- ・オープンフェイスヘルメット
- ・ジェットヘルメット
- ・オフロードヘルメット

※ ハーフキャップタイプのヘルメットには、装着できません。



## 装着方法

※内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装を外しておくと、作業がスムーズに進みます。

- ① 保護用パッドを B+COM SB213 本体裏面に貼り付けます。

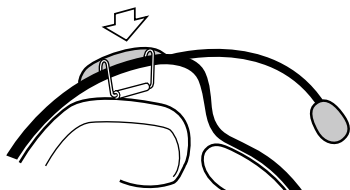


- ② ヘルメットの内側にスピーカーを装着します。

ヘルメットを被った時に耳の位置に合う場所にスピーカー固定用ベルクロテープで固定します。耳から離れると音の聞こえが悪くなるのでご注意ください。状況により付属のスピーカー固定用調整パッドで調整してください。内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組み込むことで違和感がなくなる場合もあります。

- ③ B+COMSB213 本体をヘルメットの左横に装着します。

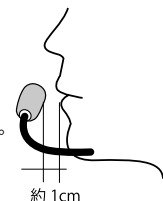
本体の取り付けホルダーでヘルメットの外装を挟み、しっかりと取り付けて下さい。



- ④ ヘルメットの内装を元に戻します。スピーカーケーブルを内装と外装の間に挟んで取り回しをすると、ヘルメットをかぶった時に違和感がなく快適に仕上がります。
- ⑤ スピーカーのプラグにスピーカー変換ケーブルを取り付け、さらにスピーカー変換ケーブルを本体の miniUSB ジャックに接続します。スピーカーとスピーカー変換ケーブルの接続部が不要の場合はヘルメットスピーカーセット miniUSB ダイレクト (別売) をご使用ください。

### ■アーム型マイクを使用する場合

- ⑥ アーム型マイクを本体ユニットに取り付け、ヘルメットを被り口元にマイクが来るようにフレキシブルアームを調整します。マイクは口の正面になるようにしてマイクの集音ピンホールが口の方向を向くようにしてください。マイクと口の距離は 1cm 前後が適当です。
- ⑦ マイクにマイク用スポンジを被せます。
- ⑧ フレキシブルアームを調整しても、マイクが口に近すぎる、あるいは遠すぎる場合は、B+COM SB213 本体の取り付け位置を前後にずらして調整して下さい。



### ■ケーブル型マイクを使用する場合

- ⑨ ケーブル型マイクのマイク部をケーブル型マイク固定用両面テープでヘルメットに固定します。マイク端子を本体ユニットに取り付けてください。

※取り付けや取り外しは無理な力をかけず、丁寧に行ってください。

ヘルメットの形状などによりマイクの位置決めが困難な場合は、オプション (別売) ロングタイプケーブル型マイク (ケーブル長 400mm) や、ロングタイプアーム型マイク (アーム長 190mm) をご使用ください。



## 電源を入れる

- ① メインボタンを 3 秒間長押しします。
- ② スピーカーからステップアップビープ音が聞こえ、電源が入ります。  
電源を ON にした直後にビープ音と LED の点灯で電池の残量を通知します。  
  
満 充 電：青の LED が点灯し、高音のビープ音が鳴ります。  
使用可能：青 + 赤の LED が点灯し、高音のビープ音が鳴ります。  
要 充 電：赤の LED が点灯し、低音のビープ音が鳴ります。

## 電源を切る

- ① メインボタンを 5 秒間長押しします。
- ② 赤 LED が点灯し、スピーカーからステップダウンビープ音が聞こえ、電源が切れます。

## 最初にペアリング（Bluetooth 通信を始めるための簡単な初期設定）を行います

1ch では Bluetooth プロファイルが「HSP/HFP」の機器とペアリングが行われます。

- ① B+COM SB213 の電源が OFF になっていることを確認して下さい。
- ② B+COM SB213 のメインボタンを 7 秒間長押しし、LED が青赤交互の高速点滅を始めたら手を離して下さい。  
(携帯電話・携帯電話用トランスミッターからのペアリング待機中です。ペアリングが成功しないまま 5 分経過すると通常のスタンバイ状態に戻りペアリングが中断してしまいますのでご注意ください)。
- ③ ペアリングする携帯電話を操作して、Bluetooth 設定画面にして下さい。Bluetooth 機器サーチモードで B+COM SB213 をサーチします。
- ④ ペアリング認証コード（パスキー）を要求されますので、「0000」（数字のゼロを 4 つ）と入力します。
- ⑤ 着信音送出設定がある場合は OFF に設定してください。  
なお、操作方法は携帯電話の機種により異なりますので、詳しくは各携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ⑥ Bluetooth 未搭載の携帯電話でハンズフリー通話を行うには携帯電話用 Bluetooth トランスミッターを平型コネクタに接続し、トランスミッターをペアリングモードにして、B+COM SB213 とのペアリングを行います。詳しくは携帯電話及び、トランスミッターの取扱説明書をご覧ください。
- ⑦ ペアリングが成功すると青 LED が約 6 秒間隔の点滅状態になり、ペアリング完了です。

### ★メモ

1. B+COM SB213 に接続できる Bluetooth トランスミッターは、認証コードが「0000」の機種のみです。Bluetooth トランスミッター購入時に必ずご確認ください。
2. 認証コードが「0000」の機種であっても、プログラムによっては機能が限られたり、不安定な状態や動作不能が起こる場合があります。
3. ペアリング情報は B+COM SB213 と携帯電話あるいは Bluetooth トランスミッターに記憶されます。次回の使用時は、B+COM SB213 の電源を ON にするだけで、すぐにワイヤレス&ハンズフリー通話をご利用いただけます。

3. ペアリング情報は電源を OFF にしても消えませんが、以下の場合は改めてペアリングを行う必要があります。
  - ・リセットや修理などを行ってペアリング情報が消去された場合
  - ・他の携帯電話、あるいは Bluetooth トランスミッターを使いたい場合（ペアリング情報の保存は直前の二件までです）
  - ・携帯電話に保存されている接続履歴が消去された場合
4. 同様の作業をすることで「1ch：携帯電話チャンネル」には、携帯電話を 2 台までペアリングすることができます。（3 台目の携帯電話をペアリングすると 1 台目にペアリングした携帯電話情報に上書きされます）

## 電話をかける（発信）

- ① B+COM SB213 の電源を ON にします。
- ② 携帯電話を操作して電話をかけるか、メインボタンを 2 回押してリダイヤル発信をします。スピーカーから呼出音が出力され、相手が出ると音声に切り替わります。
- ③ 音量は、スピーカーボリュームダイヤルで調整して下さい。ダイヤルを上または下に動かすと音量がワンクリックずつ上下し、ダイヤルを上または下に回したままにすると音量が連続的に上下します。
- ④ 会話が終了したらメインボタンを 1 回押して下さい。ピープ音が鳴って電話が切れます。
  - ※相手側が電話を切ると、B+COM SB213 は自動的に待ち受け状態になります。携帯電話を操作して電話をかけた場合、携帯電話機側で通話機切り替え操作が必要になります。

## 電話を受ける（着信）

- ① 携帯電話に電話がかかってくると、スピーカーから呼出音が出力されます。
- ② メインボタンを 1 回押して電話に出ます。
- ③ 会話が終了したらメインボタンを 1 回押して下さい。ピープ音が鳴って電話が切れます。
  - ※相手側が電話を切ると、B+COM SB213 は自動的に待ち受け状態になります。

### ★メモ

1. Bluetooth 未搭載の携帯電話でハンズフリー通話を行うには携帯電話用 Bluetooth トランスミッターが必要です。設定方法など詳しくは携帯電話及び、トランスミッターの取扱説明書をご覧ください。トランスミッター使用の場合、B+COM SB213 本体側でのリダイヤル操作はできません。
2. 携帯電話の機種により、携帯電話本体で操作を行うとハンズフリー通話が一時的に使用できなくなる場合があります。その場合は、携帯電話側でハンズフリー通話に切り替えるか B+COM SB213 本体側でのリダイヤル操作を行ってください。
  - ※携帯電話の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や機能が限られたり、不安定な状態や動作不能が起こる場合があります。

## 10 「2ch：オーディオチャンネル」で音楽やナビ音声を聴く

### 最初にペアリング（Bluetooth 通信を始める為の簡単な初期設定）を行います

2ch では Bluetooth プロファイルが「A2DP」の機器とペアリングが行われます。

B+COM SB213 は、SCMS-T 方式のコンテンツ保護に対応しているため携帯電話のオーディオを聞くことができます。

- ① B+COM SB213 の電源を ON にします。

- ② B+COM SB213 の AUDIO ボタンを 5 秒間長押しし、LED が青赤交互の高速点滅を始めたら手を離して下さい。  
(送信側 Bluetooth 音楽機器からのペアリング待機中です。ペアリングが成功しないまま 5 分経過すると通常のスタンバイ状態に戻りペアリングが中断してしまいますのでご注意ください)。
- ③ ペアリングする Bluetooth 音楽機器を操作して、Bluetooth 設定画面にして下さい。Bluetooth 機器サーチモードで B+COM SB213 をサーチします。  
サーチ結果として、Bluetooth 音楽機器のディスプレイに「B+COM2」と表示されますので、これを選択します。
- ④ ペアリング認証コード (パスキー) を要求されますので、「0000」(数字のゼロを 4 つ) と入力します。  
なお、操作方法は Bluetooth 音楽機器の機種によって異なりますので、詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ⑤ ペアリングが成功すると青 LED が約 6 秒間隔の点滅状態になりペアリング完了です。

#### ★メモ

1. B+COM SB213 に接続できる Bluetooth 音楽機器は、認証コード (パスキー) が「0000」の機種のみです。
2. 認証コード (パスキー) 入力の無い機器は認証コード (パスキー)「0000」対応の機種です。
3. Bluetooth 未搭載の音楽機器や認証コード (パスキー) が「0000」以外の機種で音楽を聴くにはヘッドホン出力用 Bluetooth トランスミッターが必要です。トランスミッターの機種により操作方法が異なりますので、詳しくはトランスミッターの取扱説明書をご覧ください。

## 音楽などを聴く

- ① B+COM SB213 の電源を ON にします。
- ② ミュージックプレイヤー、Bluetooth トランスミッターなどの電源を入れ、音楽を再生します。  
B+COM SB213 のスピーカーから音楽が出力されます。
- ③ 音量は、スピーカーボリュームダイヤルで調整して下さい。  
ダイヤルを上または下に動かすと音量がワンクリックずつ上下し、ダイヤルを上または下に回したままにすると音量が連続的に上下します。
- ④ 終了する場合は AUDIO ボタンを 1 回押すとオーディオ機能が OFF になります。(AVRCP 対応機のみ)
- ⑤ オーディオ機能を ON にする場合は、再度 AUDIO ボタンを 1 回押して下さい。(AVRCP 対応機のみ)

#### ★メモ

1. Bluetooth トランスミッターの機種により B+COM SB213 の AUDIO ボタンによる ON/OFF が動作しない場合があります。  
その場合、B+COM SB213 本体のスピーカーボリュームダイヤルで調整し消音状態にするか、使用機器本体での再生 / 停止機能をご使用ください。
2. オーディオ機能作動時に他のチャンネルでの通信を行うとオーディオ機能は一時的に OFF になります。  
通話を終了すると、自動的にオーディオ機能に戻ります。
3. Bluetooth 対応携帯電話を使用したオーディオ機能作動時に他のチャンネルでの通信を行うと通話終了後、自動的にオーディオ機能に戻らない事があります。その場合、B+COM SB213 の AUDIO ボタンを一回もしくは二回押してください。携帯電話の機種によりオーディオ機能に戻ります。  
  
※ペアリング機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、機能が限られたり、不安定な状態や動作不能が起こる場合があります。

### 最初にペアリング (Bluetooth 通信を始める為の簡単な初期設定) を行います

- ① 周囲 10 m 以内にある Bluetooth 機器の電源を切るか、Bluetooth 機能を OFF にしてください。
- ② ペアリングする二台の B+COM SB213 (SB203) の電源を ON にします。
- ③ 二台の B+COM SB213 (SB203) の B+COM ボタンを 5 秒間長押しし、LED が青赤交互の高速点滅を始めたら手を離して下さい (ペアリング待機中です。ペアリングが成功しないまま 5 分経過すると通常のスタンバイ状態に戻りペアリングが中断してしまいますのでご注意ください)。
- ④ LED が青赤交互の高速点滅を始めて、5 秒～ 10 秒後にどちらか一方の B+COM SB213 (SB203) のメインボタンを一回押してください。(ペアリング送信が開始されます)
- ⑥ 数秒後、メインボタンを押した B+COM SB213 (SB203) のスピーカーから発信音が、もう一方の B+COM SB213 (SB203) のスピーカーから着信音が出力されます。着信側が B+COM SB213 の場合は、自動着信をしてテスト通話が始まります。  
着信側が B+COM SB203 の場合は、メインボタンを押すとテスト通話が始まります。
- ⑤ 問題なく通話が可能であればどちらか一方の B+COM SB213 (SB203) のメインボタンを押してください。テスト通話が終了し、ペアリング完了です。

### 会話をする (発信 / 着信)

- ① 2 台の B+COM SB213 (SB203) の電源を ON にします。
- ② 発信側 B+COM SB213 (SB203) の B+COM ボタンを 1 回押し、もう 1 台の B+COM SB213 (SB203) を呼び出します。発信側 B+COM SB213 (SB203) のスピーカーから発信音が出力されます。
- ③ 数秒後、着信側 B+COM SB213 (SB203) のスピーカーから着信音が出力されます。
- ④ 着信側が B+COM SB213 の場合は、自動着信により会話が可能になります。  
着信側が B+COM SB203 の場合は、メインボタンを 1 回押すと会話が可能になります。  
通信距離は見通しで約 100m です。(標準プログラムを使用して、双方の間に障害物がない場合)
- ⑤ 音量は、スピーカーボリュームダイヤルで調整して下さい。  
ダイヤルを上または下に動かすと音量がワンクリックずつ上下し、ダイヤルを上または下に回したままにすると音量が連続的に上下します。
- ⑥ 会話が終了したらどちらか一方のメインボタンを 1 回押して終話します。

#### ★メモ

1. 2 台の B+COM SB213 (SB203) どちら側でも発着信が可能です。
2. 発信と着信の時間差は Bluetooth の特性によるもので、製品不良に起因するものではありません。

## 12 Bluetooth 対応無線機とのペアリング

Bluetooth 対応無線機とのペアリング方法や可能な動作は機種により異なります。  
B+COM SB213 の最新情報や詳細は弊社 WEB サイト ([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)) にてご確認ください。  
無線機の最新情報や詳細は各無線機メーカーへお問い合わせください。

## 13 クロスオーバー時の動作

### 「1ch：携帯チャンネル」で携帯電話通話をしている時に・・・

- 「1ch：携帯チャンネル」にペアリングしているもう一台の携帯電話に着信があったら  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切り、その後再度メインボタンを押して着信を受けます。
- 「2ch：オーディオチャンネル」にペアリングしているプレーヤーで音楽を聴きたい  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切り、その後音楽を聴いてください。  
B+COM SB213 では、同時に二つの動作をすることはできません。
- 「3ch：B+COM チャンネル」にペアリングしている B+COM から着信があったら  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切ってください。その後自動着信により会話が可能になります。
- 「3ch：B+COM チャンネル」にペアリングしている B+COM に発信したい  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切り、その後 B+COM ボタンで相手呼び出してください。

### 「2ch：オーディオチャンネル」で音楽を聴いている時に・・・

- 「1ch：携帯チャンネル」にペアリングしている携帯電話に着信があったら  
→メインボタンを一回押して着信を受けます。音楽は自動的に待機状態になります。
  - 「1ch：携帯チャンネル」にペアリングしている携帯電話から発信したい  
→携帯電話を操作して電話をかけるか、メインボタンを 2 回押してリダイヤル発信をします。  
音楽は自動的に待機状態になります。
  - 「3ch：B+COM チャンネル」にペアリングしている B+COM から着信があったら  
→自動着信になります。音楽は自動的に待機状態になります。
  - 「3ch：B+COM チャンネル」にペアリングしている B+COM に発信したい  
→B+COM ボタンを一回押して相手先の B+COM を呼び出してください。  
音楽は自動的に待機状態になります。
- ※通話終了後、音楽が自動復帰しない場合は AUDIO ボタンを押してください。機種により音楽が復帰します。

### 「3ch：B+COM チャンネル」で B+COM 通話をしている時に・・・

- 「1ch：携帯チャンネル」にペアリングしている携帯電話に着信があったら  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切り、その後再度メインボタンを押して着信を受けます。
- 「1ch：携帯チャンネル」にペアリングしている携帯電話から発信したい  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切り、その後携帯電話を操作して電話をかけるか、メインボタンを 2 回押してリダイヤル発信をします。
- 「2ch：オーディオチャンネル」にペアリングしているプレーヤーで音楽を聴きたい  
→メインボタンを一回押して通話中の回線を切り、その後音楽を聴いてください。  
B+COM SB213 では、同時に二つの動作をすることはできません。

※「Bluetooth」機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態や動作不能が起こる場合があります。

## 14 インターネットによるプログラムアップデート

＜動作可能環境：WINDOWS XP 以上 WINDOWS VISTA32bit までの OS、インターネット接続＞  
(2009 年 4 月現在)

インターネットを利用したプログラムアップデートにより、B+COM SB213 通話時の出力値を調整しバッテリー使用可能時間を変えるモード変更を行ったり、新型端末機種への対応を最適化して自分流のカスタマイズができます。最新情報や詳細は弊社 WEB サイト ([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)) にてご確認ください。

※新型端末への対応プログラムは、機種による特性や仕様により開発に長期間が必要な場合や機能に制限が出る場合があります。

## 15 リセット操作

適正な操作を行っても「ペアリングがうまくできない」「ボタンを押しても反応しない」など正しく動作しない場合は、リセット作業を行い B+COM SB213 を初期状態に戻して下さい。


- ① B+COM SB213 の電源を OFF にします。
- ① メイン、AUDIO、B+COM 各ボタンを同時に長押しします。(約 5 秒)
- ② 青 LED と赤 LED が同時に 1 秒間点灯して、リセットは完了です。

※リセット作業を行った場合、再度ペアリング作業を行って下さい。

## 16 LED 点灯パターン

**スタートアップ時** (電源をオンにし、青 LED が一度点灯した直後に約 1 秒間点灯)

青 LED …… バッテリー充電状態良 …… 満充電状態です。そのままご使用ください。 

青 + 赤 LED …… バッテリー充電状態可 …… 使用可能な充電状態です。早めに充電してください。 

赤 LED …… バッテリー充電状態不可 …… 充電してからご使用ください。 

**使用中**

青赤 LED 交互高速点滅 …… ペアリング待機中

青 LED 点滅 (4 ~ 6 秒間隔) …… 電源オン状態

**充電中**

赤 LED 点灯 …… バッテリー充電中

青 LED 点灯 …… バッテリー充電完了

**リセット時**

青 + 赤 LED 点灯 (1 秒間) …… リセット完了

**シャットダウン時** (電源オフ操作時)

赤 LED 点灯 …… 赤 LED 消灯後電源が OFF になります

**B+COM SB213 が携帯電話とうまく連動しない・・・**

- ・ B+COM SB213 の電源が ON になっているかを確認してください。
- ・ バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
- ・ 携帯電話が通話可能かどうかを確認してください。
- ・ 携帯電話の Bluetooth 機能が ON になっているかを確認してください。
- ・ B+COM SB213 をリセットしてから携帯電話の取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。

**通話相手にこちらの声が聞こえない・・・**

- ・ 本体にマイクパーツが確実に取り付けられているかを確認してください。
- ・ マイクの集音ホールの向きが口の方向を向いているか確認してください。

**通話相手の声が聞こえない・・・**

- ・ スピーカーボリュームダイヤルで音量を上げてみてください。
- ・ ヘルメットスピーカー、スピーカー変換ケーブル、B+COM 本体が正確に接続されているかを確認してください。

**他に質問があるのですが・・・**

- ・ 弊社 WEB サイト ([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)) 内「B+COM FAQ」をご覧ください、保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

※ 「Bluetooth」機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態や動作不能が起こる場合があります。

Bluetooth Ver.	: 2.1+EDR
チップ	: CSR BC05MM オリジナル 3 チャンネルタイプ
RF レンジ	: Class1 (B+COM チャンネル) / Class2 (携帯電話チャンネル & オーディオチャンネル)
スピーカー	: 2 スピーカー 40mm, 8Ω, 0.3W モノラル時も 2 スピーカー
Pin No.	: 0000 (B+COM SB213/SB203 とのマッチングは自動)
バッテリー	: 内蔵型リチウムポリマー電池 3.7V 容量 560mAh
充電電圧	: 入力 AC100V-240V, 出力 DC5V-0.8mAh AC アダプター + USB ケーブル 充電時間約 1.9 時間
連続使用時間	: 携帯電話最大通話時間 約 16 時間 待受け時間 約 300 時間 オーディオ最大使用時間 約 16 時間 B+COM 最大使用時間 約 10 時間 *使用環境により大幅に差異が生じる場合があります。
電波仕様	: キャリア周波数 2.402 ~ 2.480GHz データ伝送速度 3Mbps (最大)
周波数拡散方式	: FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
変調方式	: GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying)
電波到達範囲	: 約 100m (標準プログラム使用の B+COM 通話で双方の間に障害物の無い場合)
対応プロファイル	: GAP, HSP, HFP, AVRCP, GAVDP, A2DP, ICP
認証	: Bluetooth, TELEC, PSE
本体サイズ	: 91.5 × 44.0 × 33.0 (マイク部 180.0) mm, 80 g (マイクパーツ、取り付けホルダー、内蔵バッテリー含む)

## 保証書

### 保証規定

本製品の保証期間は購入日から 1 年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。

ただし本製品の使用上の誤りや事故、あるいは不当な修理や改造による故障の場合には保証範囲外となります。

また天災による故障の場合にも保証範囲外となります。

本製品の故障による付随的および間接的な損害 (事故、傷害、利益の損失、時間の損失、不便の発生等) に関しましては、一切の責任を負いかねます。

送付中の製品破損を防ぐため、送付する際には梱包材を十分に使用してください。

製品を送付する際には必ず下記の情報を添付してください。添付なき場合は無効となります。

1. 購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書
2. 送付内容 (製品の種類と数量)
3. お客様のお名前と電話番号
4. 送付理由および故障内容
5. 返送先のご住所

保証対応の内訳は、お客様からご送付いただいた製品の状態を見て判断させていただきますが、保証規定に従い保証期間内であっても有償となる場合があります。あらかじめご了承ください。

### B+COM ブルートゥースコミュニケーションシステム TYPE : SB213

保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1 年間

販売店名 住所

**SAMPLE**

電話番号

印

#### ■ 連絡先 / 製品送付先

サインハウス 〒 158-0083 東京都世田谷区奥沢 6-19-21

TEL : 03-3702-5050 FAX : 03-3701-0700 URL : <http://www.bolt.co.jp>